

経営比較分析表（令和4年度決算）

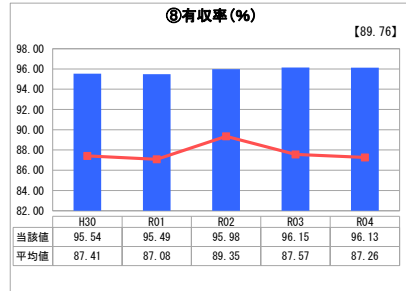
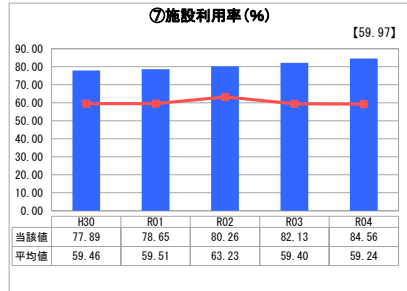
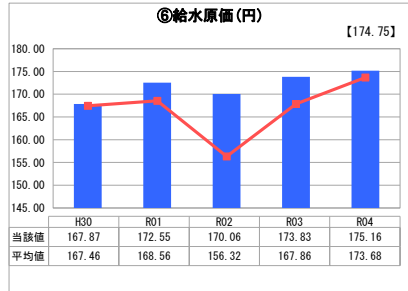
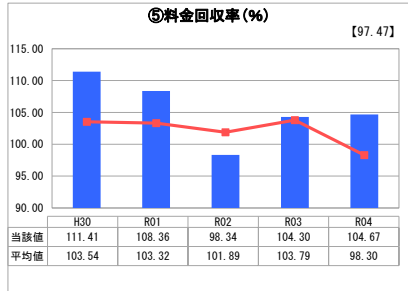
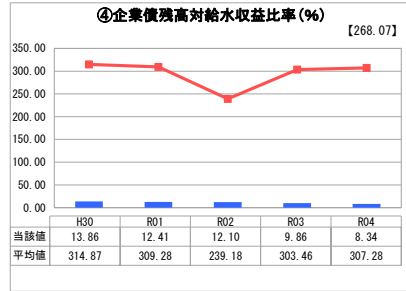
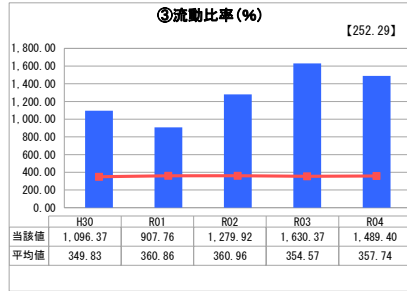
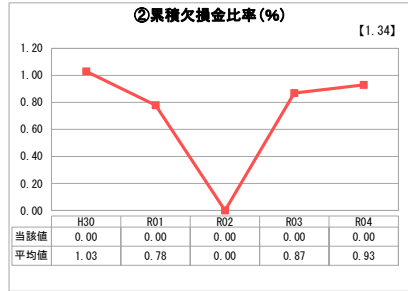
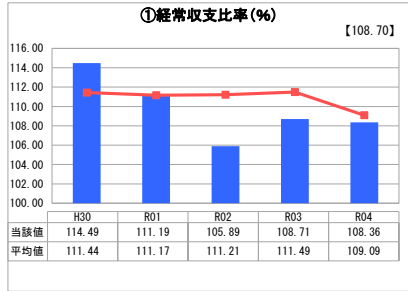
沖縄県 宜野湾市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	95.42	100.00	3,420	

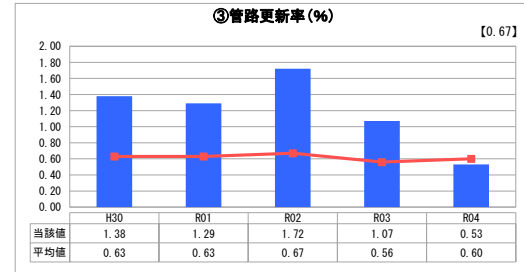
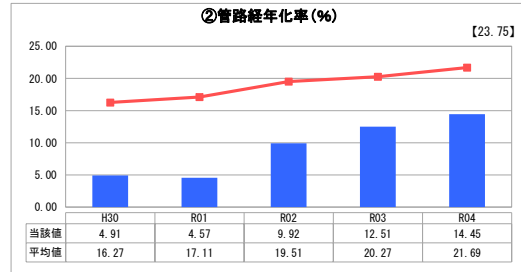
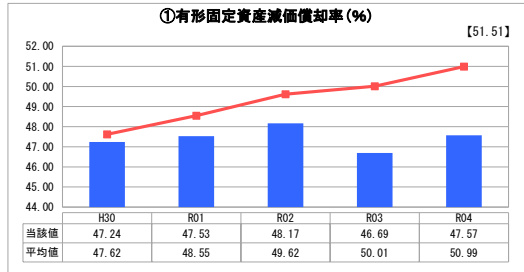
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
100,269	19.80	5,064.09
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
99,757	19.69	5,066.38

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①各年度の値は黒字であることを示す100%以上となっている。有収水量の増加に伴い、給水収益は増加しているものの、庁舎の増築・改修工事に伴う減価償却費等の増加により、R3年度と同水準となっている。
 ②5ヶ年間0%となっており、健全な状況といえる。
 ③流動比率は100%を上回っており、短期的な債務に対する支払能力は問題ない状況となっている。前年度より未払金の額が増加したことにより低下している。
 ④類似団体平均値及び全国平均より低い値となっている。管路更新等を勘案し、随時その適正度を検討していく必要がある。H30以降減少し続けている。
 ⑤概ね適正な水準を維持しており、類似団体平均値及び全国平均を上回っている。
 ⑥概ね適正な水準を維持しており、類似団体平均値及び全国平均を上回っている。今後も投資効率化や維持管理費の削減を検討していく。
 ⑦類似団体平均値及び全国平均に比べて、高い値を維持していることから、施設の利用状況や規模は適正である。(R4は84.56ではなく82.22である)
 ⑧類似団体平均値及び全国平均に比べ高い値を維持していることから、効率的な収益へとつながっている。

2. 老朽化の状況について

①類似団体平均値及び全国平均より低い値となっている。R3は庁舎の増築・改修工事が完了したため、値が低下している。
 ②類似団体平均値及び全国平均よりも低い値となっている。しかし今後耐用年数に達し更新時期を迎える管路が増加することが考えられるため、事業費の平準化を図り、計画的かつ効率的な更新に取り組む必要がある。
 ③類似団体平均値及び全国平均よりも低い値となっている。年度により値にバラつきがあるため、投資のあり方について検討していく必要がある。

全体総括

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、R2は例年より低い値となる指標があったが、R3以降は経済支援策の緩和に伴い、給水収益が年々改善し指標が上昇している。その結果、経営の健全化・効率化については、概ね良好と判断できる。
 しかし、管路が順次更新時期を迎えることが見込まれるため、適切に更新や長寿命化等の対応をしていく必要がある。
 引き続き経営の健全化を確保しつつ、施設の老朽化に対応するため、経費の削減等に努め更新のあり方について検討していく必要がある。